



福山大学

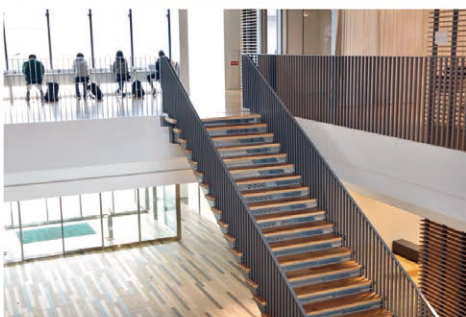
FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

2024.3.20 Vol.179

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
 豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
 生命を尊重し、自然を畏敬する。
 個性を伸展し、紐帯性を培う。
 未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業

令和5年度	学位記授与式	学長式辞	1
令和5年度	学位記授与式	理事長祝辞	2
令和5年度	学位記授与式	福山市長祝辞	3
令和5年度	学位記授与式	福山商工会議所会頭祝辞	...	4
令和5年度	学位記授与式	在学生送辞・卒業生答辞	...	5
令和5年度	学生表彰 (卒業生・修了生)		7

卒業おめでとう
 ございます！



福山大学イメージキャラクター
 「ふくりん」

新たな道を切り拓き、 社会の木鐸となるう！

令和5年度 学位記授与式 学長式辞



学長 大塚 豊

今年度、福山大学の学士課程を卒業する人は839名、大学院の修了者は18名です。心からお慶びを申し上げます。また、今日まで学生諸君を物心両面から支援され、この晴れの日をお迎えになった保証人の皆様にも、お祝いの気持ちと長年にわたる本学へのご支援に対し深甚なる感謝の意を表したいと思います。

思い起こせば、卒業生の皆さんの多くが入学した2020年4月は新型コロナウイルス感染症が国内で猖獗を極め始めた時期でした。志村けん氏、岡江久美子氏、岡本行夫氏など多くの著名人の感染による訃報が届き、この病がとてつもなく危険であることをわれわれがひしひしと感ずるようになっていました。以来、学位記授与式の持ち方をとって見ても、会場への入場者数を制限して午前・午後の二部制を採用したり、卒業生・大学院修了生のみに入場制限したりと工夫を凝らしてきました。しかし、本年度はコロナ禍以前のように、再び大ホールに卒業生、ご臨席の保証人の皆様、ご来賓各位、本学教職員が文字どおり一堂に会することができました。但し、感染症分類上は緩和されたとはいえ、感染の第10波の到来も心配されています。細心の注意を払いたいものです。

学位記授与式に限らず、皆さんは在学中のかなりの期間、コロナ禍の多大な影響を被りました。教室に教員と学生とが集まって授業を行う日常の光景が劇的に変わり、対面授業をまったく止めて、遠隔授業のみに拠った時期もありました。その後、本学は最大限の感染防止策を講じて、対面授業をできるだけ維持しました。また、遠隔授業、とくに学習者が自らの都合に合わせて視聴できるオンデマンド方式の便利さや、周りに多くの学友がいる教室では発言しにくいと感じる人も学修支援システムCerezoの掲示板や書き込みなら気兼ねなしに発信できる遠隔授業のメリットが、思いがけず認識されたこともありました。ただ、大学は授業を受けるだけの場ではありません。かなりの期間にわたって、サークル活動や課外の諸活動、友人との付き合いも相当に制限されてしまいました。しかし、皆さんは幾多の困難を乗り越えて今日の良き日を迎えることができました。

さて、昨今の世の中の動きを見ていて、私は今日の良き日に、「血気の怒りは有るべからず、理義の怒りは無かるべからず」という言葉を改めて取り上げたいのです。中国の思想家・哲学者の朱子が編んだ『孟子集注』という書物に記されています。とくに若い時に有りがちな、血気に任せ、一時の感情で怒ることがあってはならないというのです。しかしながら、世の中には不正義や不条理が溢れています。ウクライナの状況を見てください。中東のガザ地区はどうでしょう。理由はどうあれ、罪のな

い民がこの瞬間にも命の危険に晒されています。女性だから、民族が違うから、また、性的指向や性自認を理由に不当な差別や迫害を受けている人がいます。政財界においても、違法行為や常識からかけ離れた不正が行われています。そうした道理が通らない事態に対して怒らないようでは駄目だということです。本学の「三蔵五訓」の中にも「真理を探究し、道理を実践する」と謳われています。古くはエリート機関であった大学も同一年齢層の半数以上が学ぶ今日、かつての高い価値は相対的に薄らいでいます。しかし、そうは言っても社会の最高学府に位置付く大学の卒業生として、皆さんには是非ともこの朱子の言葉を心に留め、実践して頂きたいと思います。社会の不正義や不条理から目をそらし、自分さえ良ければはいけないのです。

加えて、皆さんは福山大学で自ら選択した専門学問分野の教育を受け、卒業を迎えました。是非ともその学びの成果を活かし、社会のために役立てて頂きたいと思います。皆さんが本学で学んだ事柄と、これからの職業や生活で挑戦すべき課題との距離は、人によって様々でしょう。皆さんのこれからの道が如何なるものであれ、生産の場、科学研究の世界、あるいは日常の生活場面でさえ関係する知識・技術は日進月歩です。ようやく一つの課程を終えた皆さんを前にして言うのは酷ですが、今獲得した知識や技術もあつと言う間に陳腐化してしまいます。AIが人間の知能を越えるシンギュラリティの可能性も現実味を感じさせる時代です。しかし、皆さんは在学中に未知の事柄を自ら探り、その何たるかを知る術を学んだはずで、先人から伝わった知識や技術を身に付けるだけでなく、自ら新しいものを手に入れる方法です。学びに終わりはありません。人がその業を卒えるのは棺を蓋う時とも言います。その時まで生涯にわたって自己教育、学習を続けるべきです。アメリカの大学では卒業式のことを、開始を意味するコメントと呼びますが、まさに一つの段階を終え次の段階へ向かう出発、旅立ちなのであり、だからこそ目出度いのです。

どうぞ福山大学で学んだ知識、技術そして学びの方法を活かして、新しいことに挑戦し続け、願わくば、社会を導く木鐸となって下さい。福山大学も挑戦します。また、卒業は別れではありません。福山大学はいつでも皆さんと共にあり、いつでも門戸を開いて皆さんを待っています。そして、皆さんには今後も本学の挑戦に関心を持って下さることを期待いたします。

最後に、皆さんの前途が幸多きことを祈念して、私からの饒の言葉とします。

令和6年3月20日

実社会に羽ばたいていく 皆さんへ

令和5年度 学位記授与式 理事長祝辞



学校法人 福山大学 理事長 鈴木 省三

本日の令和5年度福山大学学位記授与式にあたりご挨拶申し上げます。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席の保証人の皆様にも心よりお慶び申し上げます。また、ご多用中にも拘わらずご来臨を賜りましたご来賓の皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、多くの尊い命が失われ、多くの地域に甚大な被害がもたらされました。つきましては、本日はお祝いの場ではございますが、この場をお借りして皆様と共に、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。現在も避難生活を余儀なくされている方々や、インフラ施設の復旧が待たれる地域に住む方々が多数おられ、被災地の一日も早い復旧と復興を願ってやみません。このような時にこそ私たちに、他者の置かれた状況を「想像する力」が何よりも必要であると考えます。卒業生・修了生の皆さんの中にも、被災された方々への支援の一助として、これまで募金活動に取り組まれた方や、今後のボランティア参加等を考えている方も多くいらっしゃると思います。是非、他者の置かれた状況を想像する気持ちを大切に、実社会に羽ばたいてください。

また、卒業生・修了生の皆さんは、実社会における模範として、これからも社会的責任を果たしていかなければなりません。卒業後も日常生活では様々な予測不可能な事案に遭遇することもあるでしょうが、それら事案に適切に対処し解決に繋げるためにも自身や他者の行動と結果について「想像する力」が不可欠であると言えます。これからの長い人生において、自分や大切な人たちが健やかで豊かな生活を送るために、私たち一人ひとりに何ができるのか社会的責任を念頭において真摯に考えていかなければなりません。

ところで、今申し上げた「想像する力」との関連として、皆さんが大学で培われてきた知識・技術、取得された資格等も、その「想像する力」をもってはじめて社会の課題解決に繋げることができると考えます。ご承知のとおり、日本国内においては、生産年齢人口の減少問題と地域間格差の拡大、地域の弱体化等に起因する医療提供体制の確立問題、高齢化の進展と人生100年時代の到来等による社会構造・産業構造の変化、気候変動がもたらす予想外の災害の発生など、様々な問題が山積しています。さらに、世界に目を向けると、国家・民族間の諸問題の解決に向けた取り組みや新たなパンデミックの到来への備えの他にも、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル社会」の実現をはじめとする持続

可能な開発目標(SDGs)の達成が地球規模で求められています。明日より実社会に羽ばたいていく皆さんには、それらの問題を抱えている人々の状況についても最大限に想像力を働かせながら、知識・技術・資格を活かし、ローカルにもグローバルにも活躍していただくことを心より期待申し上げます。

加えて、本日でたく卒業の日を迎えられた皆さんへの激励として申し上げたいのは、「想像する力」に加えて、「志」も是非大切にしてください。アメリカの著名な心理学者であるウィリアム・ジェームズ氏の言葉が出典と言われる「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」というフレーズを耳にしたことがある人も多いと思います。また、明治期に外務大臣を務めた陸奥宗光氏の遺稿では「(坂本)龍馬云く、人苟(いやく)も一個の志望を抱けば、常に之を進捗するの手段を図り」とあり、志を持つことの重要性が説かれています。卒業生・修了生の皆さんにおかれては、それぞれの目標の達成と輝かしい未来の実現を志し、「揺るぎなく前進」されることを心より願っております。

そして福山大学の卒業生として、福山大学創設者の宮地茂先生が表明された「三蔵五訓」、すなわち、
一、真理を探究し、道理を実践する
一、豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる
一、生命を尊重し、自然を畏敬する
一、個性を伸展し、紐帯性を培う
一、未来を志向し、可能性に挑む
という理念をこれからも胸に刻み、実社会に羽ばたいてください。本学在学中に得た恩師・学友との絆はこれからの人生において貴重な宝であり、同窓会を通じて交流を深めていただき、自らを発展させるための糧としてくださるようお願いいたします。そして、いつでも気軽にこのキャンパスに足を運び、恩師に元気な顔を見せていただければと思います。卒業生の皆さんのご活躍が、後輩諸君の一層の成長と学校法人福山大学の益々の発展に繋がるものと考えます。どうか皆さんには、令和7年度に開学50周年を迎える福山大学の卒業生としての誇りをもって、地域社会の発展に貢献できる貴重な存在として活躍されることを心から期待申し上げます。

最後になりますが、これまで慈しみ育てていただいたご家族への感謝の気持ちを大切にくださるようお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いと激励の気持ちを込めて、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年3月20日

令和5年度 学位記授与式 祝 辞



福山市長 枝広 直幹

卒業生・修了生の皆様、御卒業、誠にありがとうございます。皆様の大学生活は、新型コロナの影響を大きく受けましたが、こうして晴れの日を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。そして、これまで支えてこられた御家族・関係者の皆様や熱意と愛情を持って指導にあたってこられた学長をはじめ諸先生方にも、心からのお祝いと深い敬意を表します。

これまでも多様な人材を多く輩出してこられた福山大学の建学の精神は、「地域社会に広く開かれた大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」です。

私たちは今、国際情勢の緊迫化や自然災害の激甚化など、これまでに経験したことがない多くの困難や試練に直面しています。

学問を通じて高められた総合的な人間力と時代の変化に即応できる柔軟な発想で困難を乗り越え、世界に貢献する人材になっていただきたいと期待しています。

「先入観は可能を不可能にする」。メジャーリーグで大活躍する大谷翔平選手の言葉です。また、「常識とは18歳までに身に付けた偏見のコレクションである」

という言葉をアインシュタインは残しています。

先入観を持たず、これまでの常識を疑う姿勢こそが、未来への新しい扉を開いていく上で重要であることを、時代を超えたこの2人の偉大な功績が示しています。

ここ福山で過ごされた日々に誇りと自信を持ち、自身の手で未来を切り拓き、夢の実現に向けて大いにチャレンジしてください。そして、社会に出てからも、福山との関わりを大切に持ち続けていただければ、とても嬉しいです。

最後に、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げますとともに、福山大学の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和6年3月20日

令和5年度 学位記授与式 祝 辞



福山商工会議所 会頭 小丸 成洋

卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。
また、ご家族ならびにご関係者の皆様のお喜びもひと
しおと拝察し、心からお祝いを申しあげます。

さて、わが国の企業を取り巻く環境は、グローバル
化に加え、技術革新によるデジタル化が想像を超える
速さで進展しております。そのような中、社会全体も
急速な変化に対応し、安定的な経済基盤の確立が求
められています。社会がどのように変化しても、卒業
生の皆さんは、福山大学で磨かれた知性、創造性、
人間性を発揮し、あらゆる困難にも立ち向かい、新た
な時代を切り拓き、未来への礎を築いていかれるもの
と期待しております。

福山商工会議所では、「政策提言」「中小企業等の
活性化」「地域経済の活力強化」という3つの使命に対
し、地域の皆さま方の声に耳を傾け、産・学・官・
民の橋渡し役を担い、福山を一つのチームとし各種事
業活動に取り組んでいます。

こうした活動を地域の中小企業の皆さま方に支えて
いただくためには、専門的な知識だけでなく、技能や
生きるコミュニケーション能力などの人間力が備わった
人材が必要と考えております。

福山大学におかれましては、昭和50年の開学以来、
常に時代のニーズに応え、確かな人間力を身につける
ことができる全学的教育システムを構築され、新たな
時代を担う優秀な人材を数多く産業界に送り出し、地
域経済をしっかりと支えていただいております。

皆さまの諸先輩方は、当地域をはじめ各地の企業で
立派に責任を果たされ、高い評価を受けておられます。
先輩方が積み重ねてきた信頼と実績を鑑とし、立派な
社会人として日本経済の発展や地域の振興に貢献して
いただけますよう、ご期待申しあげます。

結びに、卒業生の皆さんにおかれましては、社会の
発展のために素晴らしいご活躍をされますことを心から
お祈り申しあげますとともに、貴大学の今後ますますの
ご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和6年3月20日

令和5年度 学位記授与式 在学生送辞



福山大学 在学生代表
経済学部 税務会計学科 村上 映人

厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。本日、晴れて福山大学を卒業・修了される先輩方、ご家族の皆様にな在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

入学当初、先輩方はどのような夢や希望を抱かれここ福山大学の門をくぐられたのでしょうか。そして、今、その夢はどのような形で彩られていますか。期待に胸を膨らませ、桜並木を通り入学された日から本日に至るまで、勉学をはじめ、部活動やサークル活動、社会活動と様々な事柄に取り組まれたことと思います。今、先輩方の心には、福山大学でのご経験の一つひとつが、かけがえのない思い出として懐かしく思い返されていることでしょう。

4年前、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の事態が世界を包み込み、先輩方は大学生活でその影響を大きく受けられました。授業はオンライン授業となり、課外活動や日常生活の制限を余儀なくされました。しかし、そのような中でも先輩方は希望を失わず、強く歩み続けてこられました。その姿は、私たちにとって、頼もしい存在でした。

さらに、経済情勢もめまぐるしく変化し、先を見通すことができない激動の時代に新たな門出を迎えられる先輩方。ともすると、再び、暗く困難な状況に直面することもあるかもしれません。そんなときは福山大学での学びや、ともに学んだ仲間たちとの絆が必ず助け

になるでしょう。どうぞ、自らの無限の可能性を信じ、数々のご経験や思い出を支えとし、堂々と突き進んでください。

ここで、私の好きな言葉を紹介させていただきます。「置かれた場所で咲きなさい」、この言葉の解釈は、「置かれた環境が思い描いていたものとは違ったとしても、その場所で最善を尽くし、幸せになりなさい。それがきっとあなたの周りの人をも幸せにするから」というものです。先輩方もこの言葉のように、「どこで成し遂げるか」ではなく、「何を成し遂げるか」を大切に、幸せを紡いでいただきたいと思います。

福山を代表する薔薇は一凛でも美しいですが、たくさんの薔薇が咲き誇り集まると、さらに美しく輝きます。福山大学で出会った仲間やご家族、今後も訪れる素敵な出会いを大切に、美しい花を咲かせてください。先輩方の今後の人生がたくさんの花で咲き誇り、世界を彩ることを心より願っております。

最後になりましたが、皆様のさらなるご活躍とご多幸をお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和6年3月20日

令和5年度 学位記授与式 卒業生答辞



工学部 福山大学 卒業生代表
スマートシステム学科

鳥谷部 峻史

冬の寒さもようやく緩み始め、顔を上げると、にわか膨らんだ桜のつぼみが麗らかな春の訪れを感じさせます。本日はこのような素晴らしい式を挙行していただき、卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。ここに、卒業の日を迎えられたことを大変感謝いたしております。

また、お忙しい中、理事長鈴木省三先生、学長大塚豊先生をはじめ、諸先生方にご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、理事長先生並びに学長先生より訓示と激励のお言葉を賜り、また在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただき、重ねて御礼申し上げます。

4年前の春、大学生活に希望と不安を抱き、この福山大学に入学しました。4年間はあっという間でしたが、多くの学びや経験、出会いがあり、かけがえのない時間となりました。スマートシステム学科での学びは、単に工学的な知識を身につけるだけでなく、専門領域の研究方法、論文の作成技術、プレゼンテーションスキルなど、多岐にわたるものでした。それは常に順風満帆とはいかず、時折困難に直面することもありました。しかし、そうした状況でも、友人たちと力を合わせ、互いに助け合い、共に問題を解決することで、強い絆を築くことができました。また、学年を超えた交流も盛んで、共に目標に向かって努力し、達成することで、先輩や後輩との深い関係性を築くことができました。

卒業に際して喜びを覚える一方で、友人たちとの別れに寂しさを感じずにはられません。初めて出会ったあの日から、私たちは共に壁を乗り越えることで、かけがえのない存在になりました。そんな仲間たちに、この福山大学で出会えたことを心から幸せに思います。

今日、この日をもって私たちはそれぞれの夢に向かい、新しい道を歩んでいきます。これからそれぞれの場所で多くの人と出会い、学び、ときに戸惑い、悩むことと思います。そんな時には、福山大学で学んだことを思い出し、新たな仲間や先輩方と共に乗り越えていきたいと思っています。

結びにあたり、今日までお世話になりました諸先生方並びに職員の皆様、その他関係するすべての方々に感謝申し上げます。福山大学の今後益々のご発展と、在学生の皆様のご活躍を心よりお祈りいたしまして、答辞とさせていただきます。

令和6年3月20日

令和5年度 学生表彰(卒業生・修了生)受賞者一覧

【学長賞】

No	部 門	学部／研究科	学科／専攻	氏 名
1	学 業 部 門	薬学部	薬学科	西江 智美
2	学 業 部 門	薬学部	薬学科	花田 実夢
3	学 業 部 門	人間科学研究科	心理臨床学専攻	細谷 朱莉
4	文 化 部 門	人間文化学部	メディア・映像学科	大場 唯那

【奨励賞】

No	部 門	学部／研究科	学科／専攻	氏 名
1	学 業 部 門	薬学部	薬学科	中山 嶺於

※受賞者については、令和6年3月20日(水)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行います。

編 集 後 記

卒業生・修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。それぞれの進む道でご活躍できることを心から願っております。加えて、これからも福山大学の発展を見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

発 行 福山大学
編 集 福山大学広報委員会
〒729-0292
広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084)936-2111
FAX (084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>